

2026 年 8 月 3 日

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
会員各位

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
人財委員会－育成 G
事務局

2026 年度 MISA 中堅社員研修

IT 開発におけるプロジェクトマネジメント研修【初級】

～リーダーもメンバーも！知っておくべきプロマネの基礎～

オンライン開催のご案内

今般、協会主催にて表題研修をオンラインにて開催いたします。

本講座では、プロジェクトを成功に導くために、PMBOK®の全体像を俯瞰し、プロジェクトマネジメントの基本的な考え方を理解します。その上で、若手 PM が直面することが多いマネジメント項目の講義と演習を 2 日間実施します。プロジェクトを進行する上で発生する事例を基にワークショップを行うことでプロジェクトを疑似体験します。疑似体験から得た「気づき」や「学び」を現場で実践することで行動変容や成長が期待できます。

是非、若手エンジニアのステップアップにもご活用ください。

記

- ◆ 研 修 名： IT 開発におけるプロジェクトマネジメント研修【初級】
～リーダーもメンバーも！知っておくべきプロマネの基礎～
- ◆ 対 象： Zoom（カメラ必須）、OneDrive を併用した研修に参加できる方で、
 - ・システム開発プロジェクトに携わる方。
 - ・プロジェクトマネジメントの基礎固めをしたい方。 など（IT ベンダー、一般企業の情報システム部門の方。MISA 会員/非会員は不問）
- ◆ 日 時： 2026 年 9 月 9 日(水)・9 月 17 日(木) 9：30～17：30 （7 時間×2 日間）
- ◆ 実施方法： オンライン形式（Zoom、OneDrive 使用。詳細は裏面参照）
- ◆ 受 講 料： MISA 正会員：31,900 円／MISA 賛助会員および特別会員：38,500 円／
一般：44,000 円 （いずれも消費税 10%・テキスト代込み）
※申込締切後、MISA 事務局より参加費用振込みのご案内を致しますので、
案内に従って指定口座へお振込みください。
- ◆ 申 込 先： Web 申込フォーム、または申込書を E-mail または FAX でお送りください。
Web 申込： <https://www.misa.or.jp/pm2026-basic>
MISA 事務局 E-mail： misa@misa.or.jp FAX：022-217-3055
- ◆ 定 員： 15 名 ◆ 申込締切： 8 月 26 日(水)
- ◆ 問合せ先： MISA 人財委員会・育成 G 研修担当
 - （株）アイテック 徳
E-mail： takuma_toku@itec.co.jp TEL：03-6878-8450
 - （公財）仙台市産業振興事業団 及川
E-mail： koyoushien@siip.city.sendai.jp TEL：022-748-6877

<オンライン開催にあたっての注意点・お願い>

1. ご用意いただくもの

- PC (Web カメラ必須)・イヤホンマイク等、受講に必要な機材。
- 安定したインターネット回線 (通信料含む)。
- 使用予定ツール : ZOOM (チャット含む)、OneDrive、Office ソフト。
ブラウザ版でもかまいません。また、アカウントは不要です。

2. 受講場所

- 自社・自宅など、指定はございません。
- 自社会議室などに集まって受講される場合でも、各人が ZOOM 接続してください。
- ヘッドセット等を使用しても近くの方の音声を拾ってしまう場合がございますので、
ご注意ください。

3. ZOOM について

- 画面共有 (講師・受講者双方) のほか、ブレイクアウトセッションを使用します。
- 研修の質を高めるため、カメラは必須といたします。(休憩時、一時離席時を除く)
- チャットを使用する場合がございます。

4. 受講者メールアドレス、OneDrive について

- 事前および当日講義中の連絡、研修資料の事前配布、演習中のファイル共有などに
使用します。
- 研修前日までに、事前連絡および OneDriveURL を受講者あてにメール送信します。

MISA (一般社団法人宮城県情報サービス産業協会)

IT 開発におけるプロジェクトマネジメント研修【初級】

～リーダーもメンバーも！知っておくべきプロマネの基礎～

カリキュラム

本講座では、プロジェクトを成功に導く PMBOK®の全体像を俯瞰し、プロジェクトマネジメントの基本的な考え方を理解します。その上で、若手 PM が直面することが多いマネジメント項目の講義と演習を2日間実施します。プロジェクトを進行する上で発生する事例を基にワークショップを行うことでプロジェクトを疑似体験します。疑似体験から得た「気づき」や「学び」を現場で実践することで行動変容や成長が期待できます。

日 程	2026 年 9 月 9 日(水)・9 月 17 日(木) 2 日間 9:30～17:30
対 象	Zoom (カメラ必須)、OneDrive を併用した研修に参加できる方で、 ・システム開発プロジェクトに携わる方。 ・プロジェクトマネジメントの基礎固めをしたい方。 ※IT ベンダー、一般企業の情報システム部門の方。MISA 会員／非会員は問いません。
前提知識	・特になし
効 果	1. PMBOK®の基本を習得することで、プロジェクトマネジメント・スキルが向上する。 2. PM としての自らの思考や行動を理解するとともに、QCD モニタリングのポイントを理解する。 3. PM が向かうべき方向を定め、プロジェクトメンバーのベクトルを合わせる。 4. 部下やプロジェクトメンバーのモチベーションを上げやる気にさせる。 5. 行動宣言を作成し、研修での「気づき」や今後に生かす「学び」をまとめ、個人の育成計画へ反映し、フォローや振り返りに活用する。
カリキュラム (1 日目)	◎オリエンテーション 1. 情報システム開発プロジェクトの実態 ・プロジェクトマネジメントの実態を把握する 2. IT プロジェクトのマネジメント体系 ・プロジェクトの定義と特徴 ・マネジメントプロセスの概要 ・PMBOK の概要 (PMBOK 第 6 版・第 7 版の違いとそれぞれの概略) 3. プロジェクトの立ち上げ ・プロジェクト憲章 4. プロジェクトの計画 ・プロジェクト計画書 ・【演習】スコープ計画作成 ・【演習】マネジメントの WBS 洗い出し ・【演習】機能・非機能と品質計画 ※裏面に続く

カリキュラム (2日目)	◎前日の振り返り 4. プロジェクトの計画（続き） ・リスク計画と対策立案 ・【演習】リスクの洗い出し対策計画の立案 5. 監視・コントロール概要 ・監視とコントロールの概要 ・品質の監視・コントロール ・コストの監視・コントロール ・進捗の監視・コントロール ・【演習】進捗状況を確認し、対応策を考える 6. ビジネス・顧客の価値を理解する ・ビジネスを理解することの重要性 7. ステークホルダー・メンバーを統率する ・ステークホルダーのあるべき姿を考える ・ステークホルダーエンゲージメントの必要性 ・PM のリーダーシップを考える ・プロジェクトメンバーや委託先を動かす ・ステークホルダーとの関係性構築 ・【演習】ステークホルダー分析と対策 8. プロジェクトの終結 ・プロセス終結に必要な事項 ・プロジェクト完了評価 ◎まとめ ・成功する PM を考える ※カリキュラムは、受講者の状況等を踏まえて改編する場合がございます。
-----------------	---

◆ 講師プロフィール

加藤 大介（かとう だいすけ）

株式会社アイテック

<https://www.itec.co.jp/>

現在、現役の開発者として、自らの経験値なども含まれており、実践的な指導に定評がある。ヒューマン系の教育は得意で、「顧客志向」の柱は揺るがない講座の展開が出来る講師。若手向け研修では定評がある。

著書に「高度専門 システム開発技術」（アイテック）がある。



申 込 書

IT開発におけるプロジェクトマネジメント研修【初級】

開催日：2026年9月9日(水)・9月17日(木)

①窓口担当者情報（請求書送付先）

企業・団体名			
郵便番号		住所	
所属・役職			
氏名		フリガナ	
電話番号			
E-mail			
(特記事項、要望など)			

②参加者情報

No	氏 名	所属・役職	社会人 経験年数	E-mail
1	(フリガナ)		年	
2	(フリガナ)		年	
3	(フリガナ)		年	

<注意事項>

- ・ 4名以上のお申込みの際は、申込書をコピーしてご入力ください。なお、1社当たりの受講人数制限は原則として設定いたしません。大人数となる場合は別途調整をお願いする場合があります。
- ・ 参加者メールアドレスについて：受講にあたっての事前連絡は、参加者あてに直接メールいたしますので、正確にご入力ください。また、当日の緊急連絡に使用する場合がございます。
- ・ 受講後、3か年にわたる追跡調査（受講者の在職状況の調査）に協力いただきます。

申込書記載の個人情報はMISA個人情報保護規定に基づき運用し、本研修運営、追跡調査およびMISAからの各種情報提供の目的のみに使用いたします。

送信先：MISA 事務局 TEL. 022-217-3023 Fax. 022-217-3055 E-mail. misa@misa.or.jp